

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

**事業所名** くらら門田屋敷

日付 平成16年11月9日

**評価機関名** 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

評価調査員 病院での痴呆性高齢者の看護、介護業務歴 17年  
介護支援専門員歴 3年

自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）

評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）

事業者のコメントを見る  
(評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！)

**外部評価の結果**

**講評**

全体を通して（特に良いと思われる点など）

- ・建物が木造で、窓も多く天窓もあり、明るく落ち着ける造りのホームでした。
- ・長期入居者が多いので、入居者・スタッフ間の信頼関係ができていました。
- ・スタッフは入居者に対し常に優しく笑顔で接しており、その結果として入居者が落ち着いて生活できていました。
- ・家族・スタッフ・担当医の連携が取れていました。
- ・ケアプランを月1回見直し、入居者のよりよいケアに努めていました。ケアプランは問題解決だけにとどまらず、入居者の個別の能力を引き出せるプランとなっていました。
- ・スタッフは生活の中で無理強いをせず、入居者のペースに合わせたケアを心掛けていました。
- ・ターミナルケアも含めて入居者を支援し、入居者・家族の安心に繋がっていました。
- ・スタッフが研修等に参加出来る場を積極的につくり、常に良いケアについてスタッフ間で考えていました。

特に改善の余地があると思われる点

- ・利用料金が高いので特定の方の利用しか出来ません。
- ・玄関周りを整備（花を植える、草を取る、木を整える等）されれば、地域の人も入りやすく、入居者にとってもより気持ちのいい空間になるのではないのでしょうか。
- ・廊下に仏像だけでなく生花・絵等あれば、雰囲気をもっと良くなるのではないのでしょうか。
- ・現在の入居者の状況ではやむなく玄関・居室に鍵がかけられています。今後は一日の流れの中で鍵をかけない時間を設けることや、入居者に目の届く工夫をして鍵をかけない方向に持っていくことが必要ではないのでしょうか。
- ・地域の中でホームが孤立しているように思えます。今後は積極的にボランティアとの交流や地域へのアピールに努力されれば、入居者の生活にも生かされてくるのではないのでしょうか（庭周りの整備、入居者の話し相手、入居者やホームの理解にも繋がる）。

**運営理念**

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者と、家族にとって「第2の自宅」と思えるようなサービスの提供を目指しています。</li> <li>・家庭の居心地の良さを追求しながら、安心できるケアの実現を目指しています。</li> <li>・具体的には、「個人の自由・尊厳・プライバシーの尊重」、「一人ひとりに合わせたケアプログラムの作成と実施」、「気の合う方とのグループ生活」、「出来ることは極力自分でしながら、無理のない自立」、「身体介護だけではなく生活・心のケアの視点」、「家族の方も参加してのケア」、を目指しています。</li> </ul>		

**生活空間づくり**

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リビングや廊下は、休めるソファを置いたり、畳張りの座れるスペースがあるため落ち着ける空間でした。</li> <li>・生活の中では、スタッフが入居者のペースに合わせて側に寄り添い、ケアをしていました。</li> </ul>		

**ケアサービス**

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

**ケアサービス（つづき）**

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居の際のアセスメントで過去の経験や生活歴等を把握し、本人にあった事が出来るよう心がけています。また、ホームでの生活の中で、出来ることや興味を持つことを発見しながら支援しています。</li> <li>・プライバシー保護のため、スタッフは個人的な話をみんなの前でしないように心掛け、共通の話題を取り上げています。入室の際にはノックをし、声掛けて同意を求めています。入浴や更衣の際にも、羞恥心を感じさせないように配慮しています。</li> </ul>		

**運営体制**

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの質の向上に向けて、入居者からの意見を聞くことはもちろん、家族にも年1回のアンケートを実施し、常に入居者に対して良いと思われる方法を考えて様々なチャレンジをしています。入居者の状況に応じて、生活の中での機能低下を防げる環境づくりを目指しています。</li> <li>・スタッフが研修や他のグループホームを見学するなど、色々な情報を取り入れる努力をされています。</li> <li>・問題発生時やヒヤリハット発生時には、スタッフ全員で解決や再発防止に努めています。主にベネッセという組織の中で、それらの記録は岡山ブロックの代表者・本部に報告をしています。</li> </ul>		